
「コロシウム」

シーザス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「コロシウム」

【コード】

N0097Y

【作者名】

シーザス

【あらすじ】

3つの世界に現れたのは「コロシウム」《管理者》と名乗る人物。

この人物は『家庭教師ヒトマンREBORN！ 音の守護者』、『「実験体」』、『魔法少女リリカルなのは 異世界に行ったエクスシスト』に同時に現れて彼等を「コロシウム」に引きずり込んだ。

これは作者の作品の『家庭教師ヒットマンREBORN！ 音の守護者』、『「実験体」』、『魔法少女リリカルなのは 異世界に行ったエクソシスト』の主人公+ が出てきます。

色々混ぜてますが気にしないでください。

1・各々からやってきた仲間

+++++

...

一つ目の世界

葵・「貴方は何者なの!? 何故、私と同じ姿を……………?」

葵は、目の前の「自分」に向かって言い放った。

?・「フッフ…私は貴女を「招待」しに来たんですよ。」
「ロシアム」にね。」

葵・「!」

葵は驚いた。

その人物は、自分と同じ声だったのだから。

葵・「コロシウム」・・・?」

?・「はい。そうです。まずは自己紹介です。私は「漣」なみなみ。
「コロシウム」の《管理者マスター》です。」

葵・「・・・《管理者》?・・・皆を助けるためには、貴方の言うことを聞かなければならない、と?」

答えると《管理者》は手を叩きながら、

漣・「ブラボー!! 御名答。その通り」

葵・「・・・わかった。《闔トレビ》を開いて。」

漣・「フフフ・・・わかりました。」

そして、《管理者》は「パチン!」と、指を鳴らした。

すると、《管理者》の足元から《闔》が現れた。

葵・「……………」

私は無言のまま、《闇》に入ってしまった。

漣・「貴方のお友達も、直ぐに行きますよ。」

+++++

…

二つ目の世界

アレン・「貴女は何者だ!? 何故シグナムの姿をしている!！」

漣・「フッフ…焦らないでください。アレン・ウォーカー!

私は貴方を「招待」しに来たんですよ。 「コロシウム」にね。」

アレン・「「コロシウム」…? 「招待」…? それより、

何故お前は僕の名前を知っている!？」

漣・「教える義理はありませんね。」

アレン・「貴様！　？十字架ノ墓？！」

漣・「紫電一閃」

？十字架ノ墓？は紫電一閃によって紙切れ同然に切り刻まれてしまった。

漣・「クククク．．．どうします？　仲間を助けるために「コロシアム」に来るか。　仲間を捨てて一人だけ助かるか。　選ぶ。」

アレン・「．．．．．わかった。　だから．．．皆には手を出すな。」

漣・「クククク．．．わかってますよ。　私は約束は守る方でしてね。　では、《闇》に入ってくださいませ。」

パチン！

突然、「音の結界」が張られて逃げられなくなってしまった。

音色・「音の属性」．．．!?!? 「超音波の破壊」
【ultra^{ウルトラ}raso^{ソノロ}】
norro・danneggiamento^{ダンネッジャメント}（「!?!」） 「粉碎する
嵐」
【atomizzare^{アトミッザーレ}・tempesta^{テンペスタ}】（「!?!」）

「超音波の破壊」で「音の結界」を破壊しつつ、「粉碎する嵐」で謎の人物を攻撃する。

漣・「重力の障壁」
【gravitazionale^{グラヴィタツィオナーレ}・barra^{バリ}】
iera^{エトラ}（「」）

音色・「!?!」 防がれた!?!」

漣・「少しは私の話を聞いてはいただけませんか?」

音色・「話?」

漣・「ええ。 ですが今は「炎の稲妻」
【fiammeo^{フィアンメオ}・fol^{フォ}gore^{ルゴレ}】（「」）

現れた《闔》を見つめる。

音色：「．．．そっか。貴方だったんですね。私に用事があったのは。」

漣：「御名答。」

音色：「仲間．．．か．．．」

私は《闔》に入ってしまった。

+++++

．．．

漣：「．．．．．ご協力感謝します。」

只一人、《闔》の前でたたずんでいた漣はそう言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0097y/>

「コロシム」

2011年10月29日03時10分発行